

平成 29 年度 第 2 回 理事会議事録

平成 29 年 9 月 5 日

公益社団法人 大気環境学会



## 公益社団法人 大気環境学会 平成 29 年度 第 2 回理事会議事録

日時：平成 29 年 9 月 5 日（火）16：00～17：00

場所：兵庫医療大学 M487A 会議室

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島 1 丁目 3 番 6

出席者：大原利眞会長、畠山史郎副会長、伊豆田猛、大泉毅、内藤季和、中井里史、  
速水洋、松田和秀各常任理事、村尾直人、渡邊明、長田和雄、板野泰之、島正之、大原真由  
美、岩本真二各理事、野口泉、平木隆年各監事

欠席者：近藤明副会長、新田裕史、皆已幸也、樋口隆哉、鶴野伊津志各理事

本理事会の資格要件：理事定数 20 名であり、本日の出席理事数 15 名、これは定款に定める理事会成  
立要件である理事定数の 1/2（10 名）を超えており本理事会は成立する。

### 1. 議題（審議事項）

#### 1.1. 平成 28 年度事業報告について

平成 28 年度事業報告が説明され、原案の通り承認された。

#### 1.2. 平成 28 年度収支決算について

平成 28 年度収支決算報告が説明され、原案の通り承認された。

#### 1.3. 平成 28 年度監査報告について

平成 28 年度監査報告が説明され、原案の通り承認された。野口泉監事より、学会の会計状況及び活  
動状況について以下の要望事項が説明された。

- ・ 平成 28 年度収支決算においては、2 年続けて単年度収支で黒字決算となっており、なおかつ収  
支額も増えた。また前年度の赤字繰越金を繰入れても正味財産期末残高が 2,115,010 円と、昨年  
年度までの累積赤字が黒字に転じている。昨年度の監査時に目標としていた 2、3 年以内に累積赤  
字を解消することが 1 年で達成できたことについて、理事会等のご努力に敬意を表する。
- ・ しかしながら、今回の赤字脱却は年会余剰金と受託研究余剰金によるものであり、一時的なも  
のである可能性が考えられ、抜本的な赤字体質の脱却とは言い難い状況である。本学会は財政  
的に危機的状況にあることを会員全体で認識を共有し、事業収入の増加に向けた取り組み、収  
入増加が見込めないならば事業の効率的執行や収入に見合った健全な事業展開（年会の運営を  
含む）を強く要望する。

これに対し議論した結果、理事会として組織的な取り組みを検討することとした。

#### 1.4. 入退会希望者等の承認について

正会員 8 名、法人会員 B 1 名、学生会員 35 名、賛助会員 1 名の入会が承認された。また、正会員 1  
名の退会が承認された。また、会費の未納状況について説明があり、引き続き督促を行っていくこと

とした。

1.5. 60周年記念募金について

設立60周年を記念した特別寄付金「大気環境未来60」募金の説明があり、原案の通り承認された。

1.6. 第58回年会の開催準備について

第58回年会の開催について、年会長の島正之理事から説明があり、順調に準備が進められていることが報告された。また、松田和秀常任理事から、日中韓交際交流シンポジウムの説明があり、順調に準備が進められていることが報告された。

1.7. 事務局移転の取り組み・電子ジャーナル化について

財務担当の中井里史常任理事から、本学会は財政的に未だに危機的状況にあることが説明された。また、会長から、学会誌第54巻第1号からの電子ジャーナルへの完全移行に向けて取り組む方針であることが説明され、事務局機能移転とともに引き続き、詳細な検討を進めることで了解された。電子ジャーナル化については、平成29年9月7日に開催される総会において大原利眞会長から報告することとした。

1.8. 第59回年会の開催計画について

岩本真二理事から、第59回年会を平成30年9月12日～14日、九州大学筑紫キャンパスで開催する旨の説明があり承認された。

1.9. 第60回年会の開催計画について

伊豆田猛常任理事から、第60回年会を平成31年9月、東京農工大学（東京都府中市）で開催を計画している旨の説明があり承認された。

2. 議題（報告事項）

特に記載事項無し。



以上の通り、定款第 33 条の規定により議事録を作成する。

平成 29 年 9 月 5 日

会 長

大原 利眞



監 事

野 口 泉



監 事

平 木 隆 年

